

## 人と自然が共存したビオトープ赤羽緑地

## 赤羽緑地を守る会 / 日立市

赤羽緑地は、古墳時代の史跡と野鳥やミクリ等の希少動植物が生息する水辺を、日立市と市民の協働により自然観察ふれあい公園として整備し、平成15年4月に完成しました。

整備前は篠や蔦が絡み合い、ため池には葦が生い茂り人も寄り付かない荒廃地でしたが、周辺の市民団体、自治会、野鳥の会等により「赤羽緑地をつくる会」を設立して環境整備を進めました。開園を機に、維持管理作業にあたるボランティアを中心として、「赤羽緑地を守る会」が設立されました。

雑木林とため池等の自然環境を活かしながら、子供から大人まで幅広い世代の人たちに楽しんでもらえる公園づくりに取り組んでおり、ほぼ一年中、現地で環境保全活動等を続ける会員の

地道な活動により、来園者からいつでも安心して訪れることができると好評を得ています。

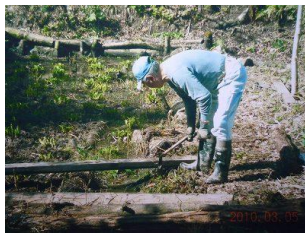
平成18年の「手づくり郷土賞」受賞以降も野鳥観察会、ザリガニ捕り、トンボ採集等の年間行事を継続しつつ、この地域には珍しいミズバショウ・シャガ等を植生し繁殖に努めています。地元メディアにも取り上げられ、市内外を問わず観賞に訪れる方が増加しています。

地域の小学校に自然観察学習の場として活用される他、高齢者や子供連れの若い方の利用が増加し、地域の憩いの場として定着しています。

次世代に素晴らしい自然を残す取組を継続し、更に「地域づくり」への一役を担っています。



環境保全活動風景



ミズバショウの植生



ザリガニ捕り大会



災害に備え、新たに手押しポンプとカマド型ベンチの設置



地域の憩いの場として活用



トンボ採取と観察会

- ◆所在地  
茨城県日立市久慈町5丁目地内
- ◆活動内容  
カブトムシ・ホタル等の育成環境活動、ミズバショウ等の繁殖活動、小学校と連携した自然観察学習会、野鳥観察会、ザリガニ捕り大会 など
- ◆活動主体及び連絡先  
活動主体：赤羽緑地を守る会  
連絡先：日立市都市建設部都市整備課（0294-22-3111）
- ◆対象となる社会資本  
赤羽緑地（愛称：自然観察ふれあい公園）

